


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【 北九州市立熊西中学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生3クラス（特別支援学級生徒1名） 126名 ・ 2年生3クラス（特別支援学級生徒2名） 107名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名 () ② 行事名 (オリパラ講演会) ③ その他 () <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に障害を持つスポーツ選手の方のこれまでの生き方や、これからの目標についての講話を聞き、キャリア教育の一環として、今後の生徒一人一人の進路選択の指標としていく。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に資料を配布して、二條選手のこれまでの活躍の内容について学び、関心を高めた。 ・ 事前、事後（2回）配布されたアンケートを実施した。 ・ 講話だけではなく、楽しく実技・実演を生徒たちと行うことで、生徒と選手の交流する機会を持った。 



6 主な成果

- オリンピックの開催期間前に講話をもったことで、オリンピックやパラリンピックについての意識が高まり、運動への意欲も向上した。
- 特にパラリンピックについては、それに関する知識が乏しい生徒が多い傾向があったが、講演会を通じて理解を深めることができた。
- 強い意志を持って、目標を持ち、努力していくことの大切さを学ぶことができた。

<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>・講演会実施にあたっては、前後にも市内の中学校での講演会が予定されており、各中学校で協力できることを確認して、(車いす等) 荷物の配送や、選手の送迎などで連絡を取り合った。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>・当日朝の準備(車いすの準備、道具の配置、簡易ネットの設置等)に時間がかかり手間取った。校内での準備の体制を工夫する必要があった。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>・障害をもつ選手との交流は、生徒にとってとても新鮮なものであり、温かい交流の時間をもつことができた。来年度以降も、キャリア教育の一環として、同様の取組を推進できれば良い。</p>